



ごみ

ごみ問題への 対応は どうなった？

「私の視点」

「古くて新しい問題」ごみ問題。
過去に一般質問で取り上げた。
また今回住民から相談を受け
た。町が主導する立場で取り
組みたいとの回答だったが、
その後の取組は。

答弁（町長） 実情に即した対応を実施した

問 今年4月、新しく班長になった人から、「ごみステーションのルールが守られず、乱雑で、困っている、何とかならないか」と相談を受けた。町はどのように取り組んできたか。

答（町長） ごみの分別を周知する注意喚起の看板作成や監視カメラ設置など、地域の実情に即した対応を検討し、提案している。

問 ごみステーションの件で問題点が2点ある。

①収集業者の問題。ごみ袋をトラックに放り込むだけで下に散らかったごみはそのまま放置している。②ごみステーションに貼ってある看板は古くなり、文字が消えかかっているものが多い。特に、赤字で書いた文字は耐候性が低く、消えているものが非常に多い。町の対応を問う。

答（環境安全課長） 収集業者がごみステーションを掃除することは契約にはない。今後の対応は、クリーンセンターに相談する。また消えかかった看板については、要望があれば、衛生支部長を通して配布するようにしている。

赤茶色の大きな石、歴史的に価値があるのでは

問 下茂木地区の滝川の近くに、人の背丈ほどある赤茶色の大きな石がある。前橋市の岩神稲荷神社にある、国指定の天然記念物「岩神の飛び石」に色や模様が似ている。岩神の石は約2万4000年前、旧浅間山の山体崩壊によって岩神の地に運ばれてきたと言われるが、下茂木地区にある大きな赤茶色の石も、同じ時期に玉村町

に運ばれてきたものではないか。調査したらどうか。

答（教育長）「岩神の飛び石」は、当初赤城山の噴火によるものと考えられていたが、近年、大変な時間と労力、費用をかけ、浅間山方面由来の岩石と判明した。玉村町は前橋台地南端にあり、前橋と地形がつながっている、また石の外形が似ている。それだけで、下茂木地区にある石が、「岩神の飛び石」と同じ由来と判断するわけにもいかない。町教育委員会では調査する予定はないが、外部機関からの調査要望があった場合は可能な限り協力したい。



これは何？ 下茂木地区の滝川の近くにある赤茶色の大きな石

こんな質問もしています

- ・犬猫避妊手術助成事業について
- ・フォトコンテストの活用について

令和7年6月定例会

町の課題や今後について、議員が提案も含めて町に考えを聞く「一般質問」。本会議において、白熱した論戦が繰り上げられます。

6月定例会で登壇した11人の議員はどんな視点で質問し、そして町はどう答えたのか。

町の「今とこれから」が見えてきます。

11人の 論戦

鋭く迫る！ 一般質問



皆さんは、どのキーワードに関心がありますか？

くらし

ごみ問題への対応はどうなった？

（月田 P.5）

共生社会の実現に向けた取組（松本 P.10）

農繁期における啓蒙や看板設置の要望

（三友 P.11）

循環型社会の構築への取組（羽鳥 P.12）

インフラ

道の駅玉村宿の南側約3.9ヘクタールの整備計画

（笠原 P.9）

役場庁舎増築のスケジュールは（小林 P.14）

クリーンセンターの広域化への進捗状況は（備前島 P.15）

子育て・教育・福祉

「あいさつ・声かけ運動」取組の状況は（笠原 P.9）

校内教育支援センターの活動内容は

（松本 P.10）

インクルーシブ教育（松本 P.10）

小中学校体育館の冷房の活用（松本 P.10）

玉村小学校の駐車場問題（三友 P.11）

町立図書館（三友 P.11）

防犯・災害

防犯対策緊急支援事業の追加実施を（浅見 P.6）

緊急防犯対策機器設置事業補助金の周知（堀越 P.8）

緊急防犯対策機器購入費補助金事業再募集求む（三友 P.11）

その他

赤茶色の大きな石、歴史的に価値があるのでは（月田 P.5）

「…されど500万」業務委託の見直しを（新井 P.7）

地域猫の公共性を示し苦情・トラブルの軽減を（堀越 P.8）

上福島西地区7.4ヘクタール農地の開発推進方策は（羽鳥 P.12）

旅行者による経済効果と地域活性化（羽鳥 P.12）

緊急経済対策住宅等リフォーム支援事業（高橋 P.13）

玉村町の観光及び地域振興（小林 P.14）

テニスコートの改修工事の内容は（備前島 P.15）

※（ ）内は質問者と掲載ページ

